

第175回東北地方交通審議会  
船員部会議事要録

令和5年5月26日  
東北地方交通審議会  
船員部会事務局

# 東北地方交通審議会 第175回船員部会

日 時 令和5年5月26日(金) 13:30~

場 所 WEB開催

出席者 公益委員 : 高橋(真)部会長、増田部会長代理  
豊田委員、鈴木委員

労働者委員 : 甲斐委員、高橋(雅)委員、奈良委員

使用者委員 : 平岡委員、村上委員

運輸局 : 山本海事振興部長、斉藤海事振興部次長  
柳松船員労働環境・海技資格課長

菊地船員労政課長、鈴木専門官、高橋労政係長

1. 開 会

2. 議 題

(1) 管内の雇用等の状況について

(2) 情報提供について

(3) その他

3. 閉 会

(資料)

資料1 船員職業安定業務取扱状況説明資料(3月分)

資料2 新規求人・求職数(東北管内:3年対比)

資料3 有効求人・求職数(東北管内:3年対比)

資料4 新規求人・求職数(全国)

資料5 有効求人・求職数(全国)

資料6 有効求人倍率(東北管内)

資料7 有効求人倍率(全国)

資料8 2022年度 水産高校等新規学卒者船員就職状況調査

資料9 東北管内新規求人・求職数(令和5年3月)〔内訳〕

◎開 会

【齊藤海事振興部次長】

〔第175回船員部会の成立状況について報告〕

〔配布資料確認〕

◎議 事

【高橋部会長】

それでは、議事に入りたいと思います。

お手元にあります議事次第の「議題（１）管内の雇用等の状況について」、事務局から報告をお願いします。

〔菊地船員労政課長から資料１～７に基づき説明〕

【高橋部会長】

ありがとうございます。

ただいまの資料の説明に関して、ご質問等おありの方はお願いします。

ないようですので、今の報告に関してはご了承いただいたものとします。

続きまして「議題（２）情報提供について」に移ります。最初に労働者委員からお願いします。

【高橋（雅）労働者委員】

労働者委員の高橋です。私から１点報告します。

５月23日、「漁業・養殖業復興支援事業」通称「がんばる漁業」の中央の協議会がありまして、東北に関しては、宮城と福島の沖合底びき網の復興プロジェクトが承認されております。福島は相馬地区、いわき地区の沖底船と宮城の沖底船、これは65トンから105トン型の操業船が11隻あります。もう１つは宮城の近海底びき網ですが、操業船が14隻で、プロジェクトに参加する船が7隻ということです。内容については、福島と宮城の県境の操業区域があるのですが、ここを福島船または宮城の船がお互いに漁場を共有するという内容になっています。それ

とあわせて、福島の漁業を支援するというプロジェクトになっております。これについては、今年の9月1日から開始される予定となっております。

**【高橋部会長】**

ありがとうございました。

そのほかの労働者委員からありますか。

**【甲斐労働者委員】**

八戸の甲斐です。よろしくお願いします。

5月の上旬ですが、八戸支部の担当漁船、大中型まき網漁船が、3ヶ統から2ヶ統に減少するというので、これにより失業保険の申請が増えていくと思いますので、ご対応のほどよろしくお願いします。支部でも就職先の相談に乗っておりますが、各海事事務所や運輸局にも雇用相談ということで行かれるかもしれませんので、そのときはよろしくお願いします。

また、5月13日、八戸支部の担当船である中型イカ釣り漁船20隻が全船、形成漁場のムラサキイカ漁に向けて出港をいたしております。

**【高橋部会長】**

ありがとうございます。

小名浜のほうは、奈良委員。

**【奈良労働者委員】**

はい。小名浜地区は特段ございません。よろしくお願いします。

**【高橋部会長】**

ありがとうございます。

では、使用者委員のほうに移りたいと思います。平岡委員、ありますか。

**【平岡使用者委員】**

平岡です。

鉄鋼元請けオペレーター大手2社は、令和5年度春の用船料を3%程度の小幅なアップで決

めた模様です。両社は令和2年度春にコロナ禍の影響で用船料を15%から20%という大幅な引下げを行いました。その後、市況の回復に合わせ数回にわたり改定を行い、コロナ禍以前の水準まで回復しました。しかし、昨年4月から海事産業強化法の一部が施行され、船員の労働時間の厳守など、船員費コスト増による船主負担が増加しました。さらに、昨年からの急激な円安に伴う原料コスト高騰をはじめ物価上昇で経営が圧迫しております。まだ用船料アップが必要で、下期にさらなる用船料のアップを期待する声が高まっております。

**【高橋部会長】**

ありがとうございます。

それでは、村上委員、ありますか。

**【村上使用者委員】**

はい。気仙沼の村上です。

こちらからは特にありませんが、先週から気仙沼魚市場でカツオ船の水揚げが、例年よりも若干早く始まりました。近海一本釣り船、まき網船の水揚げがあります。カツオの水揚げといっても9割がビンチョウマグロと、カツオが1割もないような状況です。気仙沼の魚市場にとっては、昨年はほとんどビンチョウの水揚げはありませんでしたので、待望の水揚げが始まったというところでは。

あとは、私の所属している気仙沼船主協会、6月に総会がありますが、それが終わったら、昨年は遠洋マグロ、近海マグロ、新規の乗船者が25名ほど乗船しておりますが、そこを含めてここ数年の取組、新規受入れ、あとはなかなか厳しい定着率等を、次の機会にでも報告したいと思っております。

**【高橋部会長】**

ありがとうございます。

それでは、使用者委員の増富委員が前におやめになって、新しく選んでいたというお話を伺っていたので、どなたに変わったのでしょうか。

**【齊藤海事振興部次長】**

事務局です。増富委員のご退任を受けまして、空席だった使用者委員につきましては、今現

在、大島汽船株式会社千葉代表取締役のほうに内諾をいただきまして、ただいま手続を進めているところです。手続の進捗によって、何月部会からご参加いただけるのかというのは今のところ未定です。

【高橋部会長】

分かりました。まだ決まっていないんですね。

【斉藤海事振興部次長】

もう承認はいただきまして、手続を進めているところです。まだ決裁には至らないところです。

【高橋部会長】

そうすると、いつ出席になるかは分からないんですね。

【斉藤海事振興部次長】

はい。

【高橋部会長】

分かりました。ありがとうございます。

それでは、今、労働者委員と使用者委員からそれぞれ報告がありましたが、この内容について、各委員から質問等あればお願いします。

それでは、ないようですので、「議題（3）その他」に移りたいと思いますが、そのほか委員のほうから何かございますか。

ないようですので、事務局のほうで連絡等あればお願いします。

【斉藤海事振興部次長】

事務局です。それでは、「議題（3）その他」に入ります。

資料8の2022年度水産高校等新規学卒者船員就職状況調査について、事務局から説明をお願いします。

〔菊地船員労政課長から資料8に基づき説明〕

【齊藤海事振興部次長】

それでは、ただいまの報告内容につきまして、何かご意見、ご質問等はありませんでしょうか。

【甲斐労働者委員】

八戸の甲斐です。よろしくお願いします。

資料8の船員の就職先のところですが、この船員の就職先というところは、本科卒業生と専攻科卒業生の合計の人数ということでよろしいのでしょうか。

【菊地船員労政課長】

専攻科は除かれております。学校の本科のみの卒業生の数とお考えいただければと思います。

【甲斐労働者委員】

分かりました。ありがとうございます。

【高橋部会長】

私から確認ですが、先ほど八戸水産高校と宮城水産高校の東北管内と管外の数字の変更がありました。2022年度計の数字の変更って今お話しになりましたか。7名が9名になって、29名が28名になって、75名はそのまま、14名が13名になるという変更の話、上の数字が変更になっていますでしょうか。ここの訂正はしましたか。

【菊地船員労政課長】

大変失礼いたしました。そこは変更のお話はいたしませんでした。

【高橋部会長】

単純に説明を聞いている間に私計算したのですが、今の2か所の高校の数が変更になっているので、2022年度の計が全部変わっているんですね。管内の商船は差引きゼロなのですが、それが変更になっている話をしていなかったように記憶していたので、確認でした。

【菊地船員労政課長】

おっしゃるとおりで、2022年度の計の数字も、今ご指摘いただいたとおり変更となっております。大変申し訳ございません。

【高橋部会長】

正しい数字を言ってもらっていいですか。

【菊地船員労政課長】

承知しました。それでは、2022年度計の数字を口頭で申し上げます。東北管内の商船の数字でございます。7名と記載されているところが9名。東北管内、漁船のところ、29名と記載されているところが28名。管外、商船のところ、こちら75名のところは75名で変更ございません。

管外、漁船、14名と記載されているところが13名でございます。

こちらのほうも併せて訂正させていただきます。失礼いたしました。

【高橋部会長】

ありがとうございました。

では、資料9のほうもお願いします。

〔菊地船員労政課長から資料9に基づき説明〕

【高橋部会長】

これは3月の会議で、こういう詳しい資料をもし用意できるのであれば用意してほしいという委員からの要望があって出てきた話です。事務局からは、これを雇用等の状況についてのところに資料として追加して説明するというので提案がありましたが、その方向で動いてよろしいですか。公益委員、労働者委員、使用者委員の方、ご意見をお願いします。

【村上使用者委員】

気仙沼の村上です。

これはたしか私が求人・求職の機関部、甲板部、通信部（の職種別のデータ）とお話を出し



たので、このような資料を作っていただいたことと思います。私もこの後確認しますので、何かありましたら、こちらから連絡をするなりしたいと思います。いろいろとお手数をおかけしました。ありがとうございます。

**【高橋部会長】**

すみません、村上委員個人の話ではなくて、こういう資料を毎回雇用等の状況についての中に入れてほうがいいのか、入れないかという話なのです。もし村上委員の意見に一任なのであれば、村上委員のほうで見ていただいて、これを入れてくださいという話で、全員承諾するという形を取ります。事務局としては、これをどうしますかということで、扱いを我々部会のほうによこされたので、皆さんの意見を聞いているという状況です。あるいは村上委員が3月に提案したものなので、村上委員のほうから、これはこうしてくださいという意見を事務局に伝えてもらって、それを各委員が了承するという形にしたほうがいいでしょうか。手続の話です。

**【高橋（雅）労働者委員】**

労働者委員の高橋です。村上委員に検討していただいて、それで入れるような形でよろしいのではないのでしょうか。

**【高橋部会長】**

分かりました。では、村上委員に見ていただいて、あと事務局のほうに連絡していただき、次回からそういう形で資料を用意してもらおうということでよろしいでしょうか。

**【村上使用者委員】**

はい、分かりました。有効にこの資料を活用できればと思いますので。ありがとうございます。

**【高橋部会長】**

ありがとうございます。よろしく申し上げます。

それでは、次長、お願いします。

**【齊藤海事振興部次長】**

事務局でございます。事務局からの連絡事項です。

事務局からは議事録についてです。第173回議事録の案につきまして、事前に郵送させていただきました。既に修正のご連絡をいただいた委員の方もいらっしゃいますが、ご確認の上、修正等ございましたらご連絡くださいますようお願いいたします。

【高橋部会長】

ありがとうございました。

今回の会議はウェブではなくて対面ですね。6月23日でいいですね。13時半からで。

【齊藤海事振興部次長】

はい。6月23日、13時半から。次は対面での開催です。

【高橋部会長】

よろしく申し上げます。

では、シナリオと委員名簿を私の資料の中に入れておいてください。お願いします。

【齊藤海事振興部次長】

それでは、以上で本日の船員部会を終了いたします。

皆様大変お疲れさまでした。